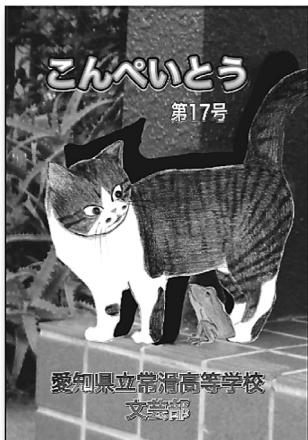


## 第一席

### こんぺいとう

### 第十七号

愛知県立常滑高等学校



私たち常滑高校文芸部は、毎週月曜日、水曜日、金曜日の週三日間、小説、詩、エッセイ、短歌、俳句、川柳などの創作活動を行っています。また、定期的に新しい企画に挑戦することで、自身の能力を高め、広げることができます。ができる環境が作られています。部員たちの作品はコンクールに応募するだけではなく、それらを載せた部誌『こんぺいとう』は年に二回発行しています。そして、自身の一年間の作品を総集した個人誌の作成もします。

今年の創作テーマは「イロトリドリ」です。無限にある色のように、部員たちの個性が最大限に活かされたユーモア溢れる部誌になっています。特別企画である卒業生アンソロジーでは文芸部の歴史を感じられる、一風変わった楽しみ方もできます。

今後も新しいことに挑戦し、

経験や失敗、努力などを糧にして、より魅力的な作品を作成することができるよう、活動を続けていきたいと思っています。

(二年 蜂須賀すず)

## 第二席

### AWAY 2021 AUTUMN

愛知県立豊橋西高等学校



豊橋西高等学校文芸部は、週に三回、俳句・短歌などの創作を中心に活動を行っています。言葉を使って表現する楽しさを大切にしながら、皆で切磋琢磨しています。

また、年に二回文芸部誌を発行しています。文化祭で発行する本誌は、生徒及び一般の方々に販売しています。

今回の部誌のテーマは「豊橋」です。僕たちが住んでいる豊橋を深く追究することで、いつもの風景が少し違つて見えてきました。そんな気持ちを表現した詩や、豊橋の名所を隨所に散りばめた小説、俳句、短歌。そして、豊橋の写真（本校写真部撮影）に合わせて作成した俳句や短歌などをお楽しみください。また、企画では、市役所や文化財センターなど伺ったインタビュー記事も掲載されています。様々なジャンルで表現された僕たちの豊橋への愛を、どうぞお楽しみください。

(二年 中村 鳥汰)

## 岡東文芸部誌 第五号 秋桜

愛知県立岡崎東高等学校



私たち岡崎東高校文芸部では、週に三回、総勢十名の部員で活動しています。

今回の部誌『秋桜』では、ありのままの自分を、詩・俳句・小説・イラスト・写真という形で表現しました。また、表紙は私達の思う日本と文芸とを一つの絵として完成させました。

この『秋桜』を読んでもらうことで、私達部員それぞれの思いが伝わると思います。ぜひこの部誌を読んで、私達の思いを感じてください。

(一年 河合 風芽)

## イナカプレス

愛知県立成章高等学校



成章高等学校文芸部は、平日授業後、散文・詩などの創作を中心に活動を行っています。昨年よりも部員が増えにぎやかになった部室で、日々創作活動に励んでいます。

また、年に一回「成章祭」と呼ばれる文化祭に部誌『イナカプレス』を発行し、生徒及び一般の方へ配布しています。

『イナカプレス』は今年一三八号になります。今回のテーマは「日記」です。各々が持つ日記のイメージを膨らませた個性豊かな「日記」が詰まつた一冊になっています。部員一同心を込めて丁寧に作りました。例年よりもボリュームのあるイナカプレスをどうぞお楽しみください。

(二年 谷口 萌)

## 夢 幻 三十二号

愛知県立碧南高等学校



(三年 横原 萌子)

読んだことのない世界に一冊だけの小説を。私たち碧南高校は年に二回部誌を発行しており、その歴史は十五年にもなります。この部誌「夢幻」は毎回部員、顧問含め全員でテーマを一つ決め、執筆、印刷、製本等全ての作業を部員全員で協力して創り上げています。夢幻に載っている小説は、「まだ誰も読んだことのない小説を」という各部員の想いがあり出来上がった作品です。小説は作者の自由な世界です。誰も読んだことの無い小説、それは私たちの空想の世界なのではないでしょうか。

この「夢幻」に込められた想いをどう捉えるのかは読者にしか分かりません。是非手に取りお読みください。

文芸部の活動として、小説・詩・短歌・俳句の創作をしています。特に九年前からは俳句作りに力を入れて、全国大会でも入賞をするまでになりました。

文芸誌「ユニコーン」の創刊は、一九八六年（昭和六十一年）です。今年からは全員共通のテーマを決めて、それに沿ってそれぞれが自分の得意分野の作品を掲載しています。その結果、それぞれの個性がいかんなく發揮された楽しい文芸誌ができあがりました。

（二年 真島 志歩）

## ユニコーン 一九二号

愛知県立安城高等学校

